

研究主題「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり ―各教科等における見方・考え方を働かせて―」

【単元を貫く問い】 先生のことをもっとよく知ってもらうためにはどうすればいいかな。

この単元と関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)

[第1学年及び第2学年]

- ◆語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。
- ・こんなことをしたよ

本単元の目標

学びに向かう力、人間性等

これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、進んで簡単な構成を考えて、身の回りにいる人を友達に紹介する文章を書こうとしている。

単元終了時のめざす児童の姿

- ・伝えたいことを明確にするため、その事柄・情報を収集・整理して、事柄の順序・文章の構成を考えようとしている姿。
- ・書いた文章を読み合っ、自分や友達の文章の内容や書き表し方のよいところを見つけようとする姿。

知識及び技能

- ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(2)ア

思考力・判断力・表現力等

- ・自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。B(1)イ
- ・語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ

言語活動

伝えたいことを明確にし、必要な情報を集め、内容ごとに整理して書く

【1時間】

1. 全校に中村小学校の先生のことをもっと知ってもらうために、先生の紹介文を書くという学習課題をつかむとともに、ゴールを確認する。

【主①】

【8時間】

2. どんなことを紹介すれば、先生の方がより伝わるか考え、聞きたいことを考える。【思①】
3. アンケートをもとに、紹介したい内容を考え、さらに聞きたいことを整理し、検討する。(本時)【思①】
4. インタビューして集めた事柄を書いたメモをもとに紹介文を書き、伝えたいことを明確にするためにさらに聞きたいことを考える。【思②】
5. インタビューで聞いた書くための材料をメモにつけ足し、必要な事柄を確認する【思②】
6. メモをもとに、紹介したい先生の方が伝わるように、内容のまとまりを意識して紹介する文章を書く。2時間【思②】【知①】
7. 書いた文章を、書き方チェックリストに沿って推敲し、文章を完成させる。2時間【思②】

【1時間】

8. 書いた文章を読み合い、互いのよいところを伝え合う。【思③】

働かせている児童の姿

- ・これまでの学習を生かして、全校に先生のことを紹介したいという意識をもって取り組んでいる姿。

- ・集めた情報を整理・検討し、より分かりやすく詳しい文章にするために、さらに必要な情報を集めようとする姿。
- ・集めた情報をもとにして、伝えたいことの中心を明確にして書いている姿。

- ・内容の書き表し方を工夫している姿。
- ・友達と自分の書き方の相違点に着目し、友達の文章の分かりやすさや伝わりやすさなど、よさを伝え合う姿。

評価規準

知識・技能

- ①共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア

思考・判断・表現

- ①「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。B(1)イ
- ②「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ
- ③「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。B(1)オ

主体的に学習に取り組む態度

- ①これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで簡単な構成を考えて、身の回りにいる人を友達に紹介する文章を書こうとしている。

この単元からつながっている領域の付けたい力(◆)

[第3学年及び第4学年]

- ◆相手や目的を意識して、経験したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にする力。

[第5学年及び第6学年]

- ◆目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた情報を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする力。

[中学校第1学年]

- ◆目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めたことを整理し、伝えたいことを明確にする力。

[中学校第2学年]

- ◆目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を集め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする力。

[中学校第3学年]

- ◆目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を集め、多様な方法で集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にする力。

他教科等との関連

- ・生活科(どきどきわくわく町たんけん)

児童の実態と指導観

本単元における重点指導事項は、学習指導要領における〔思考力・判断力・表現力等〕の「B書くこと」(1)「自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること」である。また、「B書くこと」(1)ウ「考えの形成・記述」に関する指導事項と、(1)オ「共有」に関する指導事項も設定している。書く事柄を内容のまとまりごとに整理して簡単な構成を考えて書く力を身に付けさせることをねらいとしている。

本学級の児童は、これまでに事柄の順序や時間の順序に沿って文章を書くこと、語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する学習を行ってきており、はじめ・中・おわりや内容のまとまりを意識して文章を書くことができた。しかし、文と文をつなぐ言葉の使い方が正確でなかったり、自分の思いを書くことに苦手意識がある児童もいる。また、書く量にも個人差が見られる。

そこで、本単元では、中村小学校の先生のことを全校にもっと知ってもらうために、先生の紹介文を書くという目的意識を持たせることで、主体的な学びを展開できるようにしたい。ペアで話し合う活動を通して、インタビューをもとに集めた情報を取捨選択したり、順序を工夫しながら構成を考え、伝えたいことが明確になるような文章を書くことができるように指導していきたい。

**【本時の目標】** アンケートをもとに集めた情報を整理し、さらにくわしくするために聞きたいことを考えることができる。 ( 4 / 10 )

**【本時における言葉による見方・考え方】** 伝えたいことを明確にし、くわしくするために必要な情報は何かを考えている。

先生のひみつをしようかいしよう！

☆ぜん校にむけて

アンケートけっか

紹介文

※不完全なもの

みじかい  
くわしくない

ひつような  
キーワード

・ どうして  
・ どんな  
・ 何を  
・ いつから

びっくり！

めあて  
つたえたいことをきめて、もっとくわしく  
するために、先生にインタビューしてみたい  
ことを考えよう。

◎ひみつをくわしくするために  
書きたいことをえらぼう

←

そのことをくわしくする

ふりかえり

○書きたいことをくわしくするために聞きた  
いことを考えることができたか。

○友だちと考えてみて。

インタビュー  
しよう！

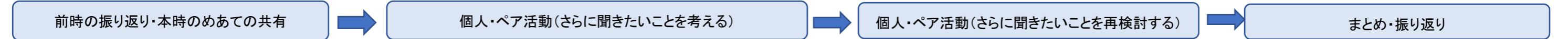
(とくひろ校長先生)を  
しようかいします  
上田 みお

わたしは、りょうががすきな校長先生をしよう  
かいします。  
校長先生は、今までに、いろいろなところへりよ  
こうに行ったことがあるそうです。  
校長先生は、とくに東京がすきだそうです。東京  
に行くとき、よの中のすみぐあいがよく分かるそ  
うです。コンサートやびじゅつかんなど、いろいろ  
なことを楽しめる場所もすきだそうです。  
今までにりょうこうしたところで、一番すきなど  
ころを聞いたら、  
「長野けんです。黒べダム、立山のうつくしいけし  
きを見てかんだうしました。大すきなおんせん  
もありました。」  
と教えてくれました。

わたしは、校長先生の話を聞いて、長野けんのう  
つくしいけしきをもううして、りょうこうに行き  
たくなりました。

**◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程の工夫**  
全校に、中村小学校の先生ことをもっとよく知ってもらおう  
という目的意識を持たせることで、学習への意欲を高めさせる  
ようにする。  
個人思考にとどまらず、ペア活動を取り入れ、どうすれば伝  
えたいことがより明確で詳しい紹介文になるか対話を通して検  
討する場面を仕組んでいきたい。

**◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て**  
モデル文から、伝えたいことが相手に伝わるように文章を書  
くためには、伝えたいこと中心を決めて、そのことをより詳し  
く書くことが必要であることに着目させる。  
ペア活動を通して、互いの質問を聞き合い検討することを繰  
り返しながら、伝えたいことが伝わる文章になるために必要な  
質問を考えさせる。



1. これまでの学習を振り返る。

T アンケートをとって色々なことが分かったね。どんなことを聞  
きましたか。先生も矢野先生のひみつを紹介する文を書きま  
した。どうですか？

C いいと思う。  
C あまりくわしくない気がするな。  
C 短いから、くわしく書いたらよさそうです。  
C 5つ全部書いていない。

T 全部のことを書いてないよね。なぜかな？  
C みんなに紹介したいと思うことを選んだのかな。  
C 多すぎるから。  
C ひみつが見つかりそうなものを選んだのかな。

T みんなに驚いてくれるようなことを選ぶといいね。どのことを  
紹介したいか決めてみましょう。

C ○○先生のしゅみについて書きたいな。  
C ○○先生のとくいなことと休日にしていることにしたいな。

めあて つたえたいことをきめて、もっとくわしくす  
るために先生にインタビューしてみたいことを考えよう。

2. 自分が伝えたいことについて、さらに聞いてみたいことを考える。

T 矢野先生の紹介文を見て、どんなことを聞けば、もっとくわしくひみ  
つが分かってきそうかな。

C 「どんな曲がひけますか。」  
C 「土佐市に帰って何をしていますか。」  
C 「いつからピアノをひけるようになったのですか。」

T 「どんな」「いつから」「何を」などインタビューを書くときに入れたら  
いいキーワードがありますね。

T キーワードを意識して、もっとくわしく聞いてみたいことを考えて、  
付箋に書いてみましょう。(個人)

T 書いたことを話してみましょう。(ペア)

C どうして得意になったか聞いてみようと思います。  
C 誰としているのか聞きたいです。  
C なぜ、それが好きなのかな。理由を聞きたいです。

T 一人で考えてみて、困ったことはないですか。  
C どれを選んだらいいか困った。  
C 質問が少ししか書けなかった。

3. 伝えたいことをくわしくするために、聞きたいことを再検討す  
る。

T これで、紹介する先生のひみつを見つけて伝えることができそう  
ですか。困ったことや、こんなことも聞いたらどうかなと思うこ  
とを友達と話し合ってみましょう。(ペア)

C これ以上、何を聞いたらいいか分からなかったよ。教えて。  
C ○○を聞いてみたら、特技がくわしく伝わりそうだよ。  
C ○○を聞いてみたら、もっといいんじゃないかな。  
C アンケートの中から、これも選んだらおもしろいひみつが見つかり  
そうだよ。

T 話し合ったことを教えて下さい。  
C 付け加えたらいいと教えてもらいました。  
C アドバイスの中で、このことも聞いたらと伝えることができました。

T 友達のアドバイスを聞いてもう一度書き直してみましょう。  
(個人)

T 書き直したことを話したことを発表して下さい。  
C ○○と○○について聞いてみることにしました。  
C 教えてもらったことを書き足しました。  
C しつもの仕方を書き直してみました。  
C 他にも聞きたいことを書いてみました。

T 書いたことの中から、実際にインタビューすることを決めて  
ノートに貼りましょう。(個人)

4. 学習を振り返る。

T 先生のひみつをもっとくわしく伝えるために、聞きたい  
ことを考えることができましたか。

T ふり返りをノートに書きましょう。  
C インタビューするのが楽しみです。  
C 聞きたいことをたくさん考えることができました。  
C 友達のアドバイスのおかげで、考えやすかったです。  
C 次は、伝える順番も考えてみたいです。

<本時で目指す児童の姿>

先生のことをくわしく知ってもらおう紹介文にす  
るために、伝えたいことを選んで、さらに聞きた  
いことを考えて書いている姿

[指導上の留意点]

・不完全な紹介文を提示し、詳しい紹介文にするためには、伝えたい  
ことを決めて詳しく書くといいことに気付き、そのために質問  
を考える必要があることを理解させ、本時のめあてを設定する。

[指導上の留意点]

・伝えたいことを明確にし、どんなことを聞けば、伝えたいことがより詳  
しく伝えられるか聞き方のキーワードを全体で検討し、個人思考の手立  
てとする。

[指導上の留意点]

・ペア活動を通して、困り感やアドバイスを伝え合いながら、紹介  
したい秘密がもっと詳しくなるために再検討するようにする。

[指導上の留意点]

・先生のひみつを詳しく伝えることができるようにするために考えた質問を振り返り、実際にインタビューしたいと  
いう思いを高められるようにする。

**【思①】(評価方法)** アンケートをもとに紹介したいことを選んで、もっと詳しくするためにさらに聞きたいことを考えている。  
(発言・ワークシート)